

9 港湾

現状

- 江差港は昭和28年に地方港湾に指定され、日本海で展開されるイカ、スケトウダラ漁等の水産物の水揚げ基地として、また離島奥尻島と結ぶ海上交通基地として、さらには管内から移出される港湾・漁港建設資材の供給に貢献する内貿基地として重要な役割を果たしてきました。
- 平成元年には海洋レジャー・スポーツの拠点として公共マリーナが整備され、国体ヨット大会が開催されました。また、当港内に沈んだ旧幕府の軍艦「開陽丸」を資料館として復元整備しているほか、当港を構築している天然の防波堤「道立自然公園かもめ島」には海上遊歩道等を整備しています。さらに、平成18年には新北埠頭を整備しました。
- 近年の長引く経済不況によって、沿岸海洋開発工事や港湾整備工事等の公共工事が著しく減少し、民間工事についても同様に減少しており、江差港の主要取扱貨物である石材内貿の取扱量が減少し、関連業者の倒産が相次ぐなど厳しい状況が続いています。
- 離島奥尻島との連絡基地としての利用についても、ニーズの変化や観光旅行の少人数化等によって、フェリー利用数が減少しています。

[表10] 江差港の利用状況の推移

	入港船舶		船舶乗降人数		海上出入貨物			
	隻数 (隻)	総トン数 (t)	乗込 (人)	上陸 (人)	一般貨物		自動車	
					移出(t)	移入(t)	移出(台)	移入(台)
平成14年	11,139	1,571,317	36,302	35,734	344,508	234,083	8,182	7,445
平成16年	4,642	1,607,482	35,103	34,749	340,672	197,617	7,345	6,577
平成18年	5,735	1,529,485	34,045	36,304	307,133	218,313	7,648	6,993
平成20年	4,756	1,482,939	30,734	30,253	250,765	181,065	6,608	6,164
平成21年	4,034	1,414,151	27,982	28,362	224,623	177,314	6,191	5,777

(港湾統計)

課題

- 南埠頭における水産物等貨物(物流)と生活・観光(人流)の混在に対応する、機能的な港湾再編整備について検討が必要です。
- 江差港は漁業基地と公共マリーナの双方を有する港となりましたが、輻輳する機能の中で種々の問題点が生じ、港湾機能の再編や、漁港区の狭隘化、施設の老朽化などの水産基盤施設整備が必要となってきました。

課題解決に向けた基本方針

- ・ 船澗岸壁上屋の改修を進めます。
- ・ 漁業基地と公共マリーナの機能を整理し、港湾機能の再編を図ります。
- ・ 漁港区の狭隘化、施設の老朽化などの水産基盤施設を整備します。
- ・ レジャー・スポーツの拠点としての環境を整備します。

具体的な施策

- | | |
|-------|--|
| 港湾の整備 | <ul style="list-style-type: none">・ 漁港区の整備・ 南埠頭の再編利用計画の検討・ 北埠頭フェリー岸壁防舷材の改修・ マリーナ環境の整備 |
|-------|--|

